

公益社団法人日本語教育学会 2018 年度支部活動【関西支部】

一般財団法人日本語教育振興協会【近畿地区教育集会】
「現職者研修始まる！一初任・中堅・主任研修の中身教えますー」
開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会・一般財団法人日本語教育振興協会

開催日：2019年2月9日（土）13：00～17：00

会場：大阪 YMCA 国際専門学校土佐堀会館 9 階

対象：①法務省告示校に勤務する教職員 ②その他日本語教育関係機関の教職員

参加者：129名（会員54名・一般75名）

今回の支部活動は、本学会と一般財団法人日本語教育振興協会（以下、日振協）の両団体がともに主催する初めての企画で、画期的と言えるものでした。日本語教育にかかわる施策の施行や今後の動向を、当事者である法務省告示校（日本語学校）の先生方に知っていただくこと、業界全体が社会的に認知されるためにも、一丸となって教育の質を向上させる必要があること、さらには、関西地区一帯で関係者間の連携を図ることをねらいとして開催され、日本語学校の教職員91名、大学関係者24名、その他14名、計129名の参加となりました。

まずは6人を1グループとし、ペアで自己紹介をした後、グループに向けて相手を紹介し合う活動でにぎやかに会が始まりました。以後、研修の情報を得るたびにグループで話し合い、確認や質問をしながら、意見交換する形で、会が進行しました。

最初の講演は、文化庁の増田麻美子氏によるもので、「日本語教育人材の養成と研修の在り方について（報告）」の概要に加え、現在議論されている日本語施策について話していただきました。次に、奥田純子氏（コミュニケーション学院）の司会により文化庁報告に基づく「研修カリキュラム等開発事業」を受託した日振協の初任研修、本学会の中堅研修、日振協受託の主任研修について、開発に携わった亀田美保（大阪 YMCA 国際専門学校）、義永美央子氏（大阪大学）、平岡憲人氏（清風工科学院）から研修の概要の説明がありました。そして、最後に、増田氏と3名の研修カリキュラム開発者が研修およびカリキュラム開発についての思いや期待を述べました。

アンケートの結果は概ね好評で、「研修の内容がわかってよかった」「研修後の成果も知りたい」「他校の教員や大学関係者など学外の人と話せてよかった」「今後も、さらには他地域でもこのような（学会と日振協の共同開催）会を開いてもらいたい」「情報交換の場が必要」などの意見がありました。一方、「明確に決まっていないことも多く、中途半端だった」「説明や質疑応答の時間が足りなかった」など不十分だとの声もありましたので、この問題については引き続き、関西地区の企画の一つとして考えていきたいと思えます。

ご参加の皆様、ご登壇いただいた先生方、会の運営にご協力いただきましたすべての方々に、心よりお礼申し上げます。
（報告者：支部活動委員：亀田美保・和泉元千春）

